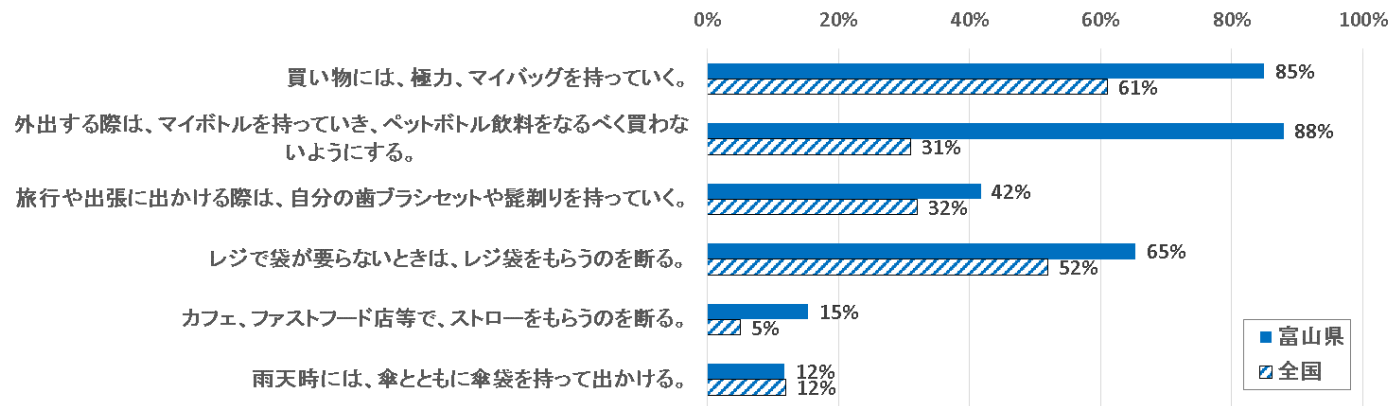


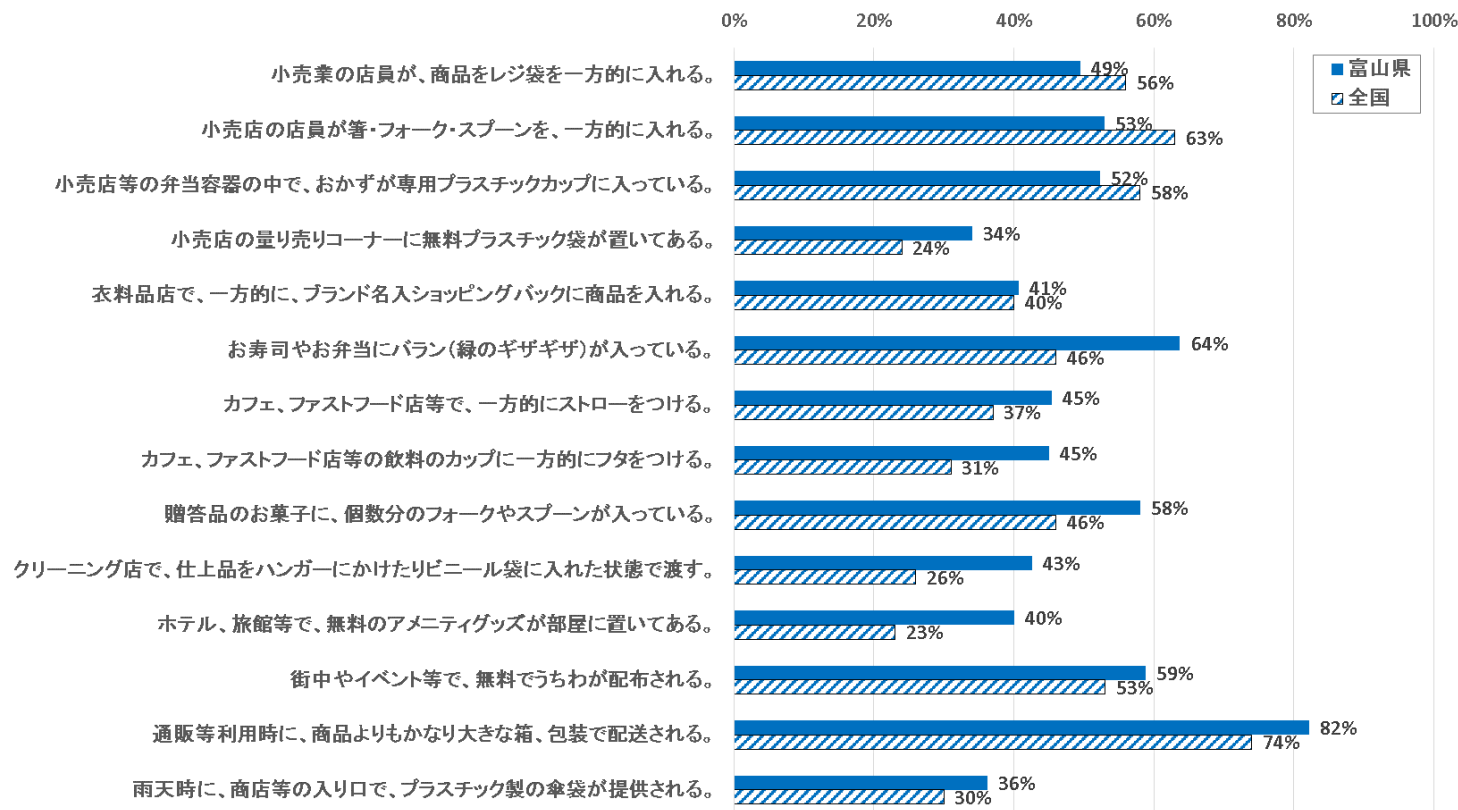
使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査の結果

1 普段の「プラスチックごみ削減の取組み」(実践している者の割合)



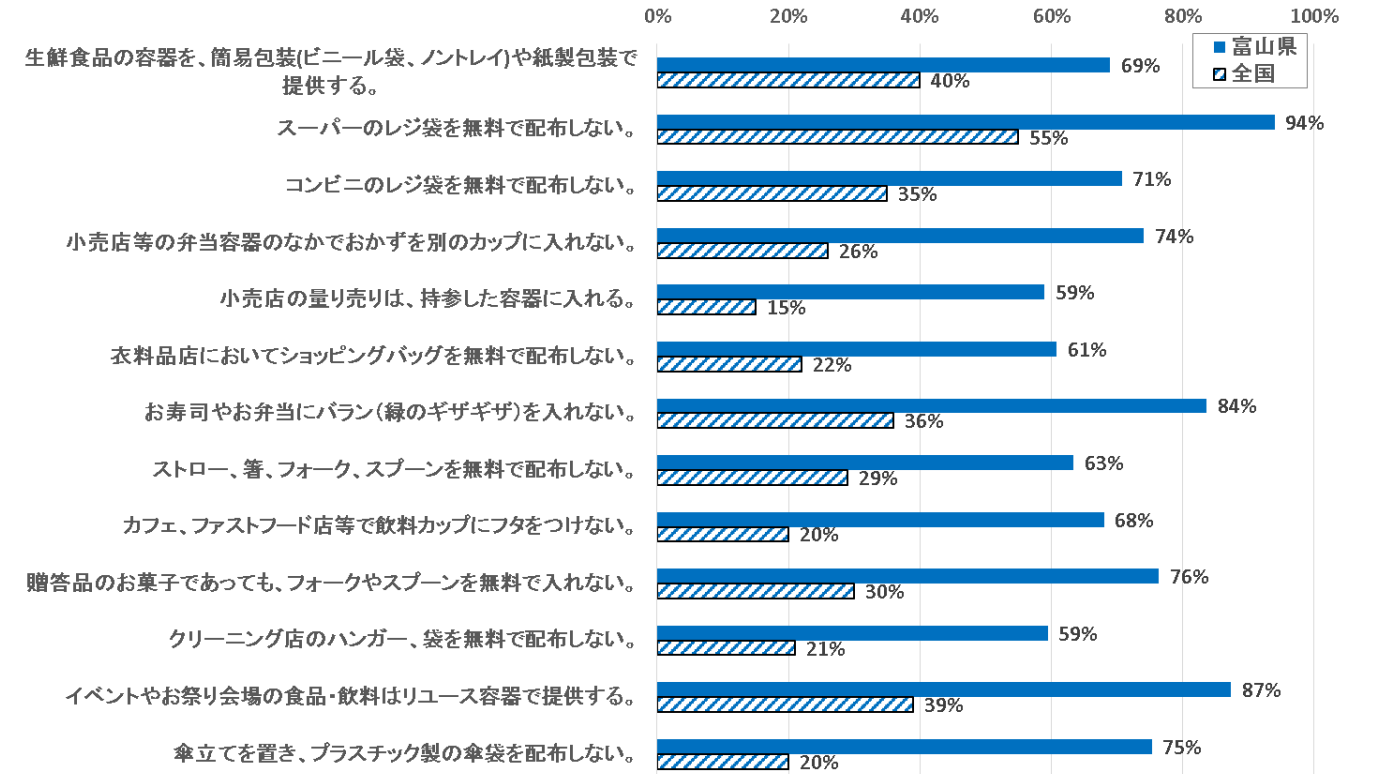
- ・「マイバッグ持参」や「マイボトル持参」の実施率が80%以上と高い。
- ・全国と比較すると本県では普段からプラスチックごみ削減に取り組む割合が高い。

2 小売店等における「プラスチックに関するサービス」への意識(過剰と感じる者の割合)



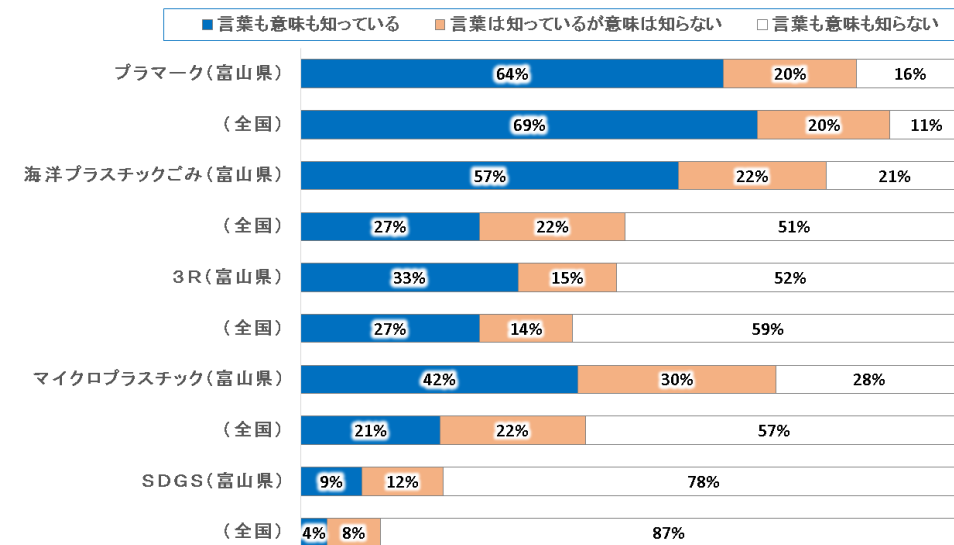
- ・「通販等の大きな箱」で8割以上、「バラ」、「贈答品のフォーク・スプーン」、「うちわ」では約6割の県民が過剰と感じている。
- ・全国と比較すると本県では過剰と認識している割合が高い。

3 小売店等が実施する「使い捨てプラスチック削減の取組み」への意識(協力できる者の割合)



- ・「スーパーのレジ袋」が94%と最も高く、「イベント等のリユース容器」、「バラ」、「贈答品のフォーク・スプーン」、「傘袋」等も75%以上と高い。
- ・全国と比較すると全項目で富山県民の協力意向が高い。

4 プラスチック・廃棄物に関する言葉について(認知度)



- ・言葉も意味も知っている割合は、「プラマーク」及び「海洋プラスチックごみ」が約6割と高く、「マイクロプラスチック」が約4割であった。
- ・全国と比較すると本県ではプラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度が高い。